

20 歳になる自分のこれから

大平 優介



私は今年で 20 歳という歳を迎えます。この節目に当たり、これまで支えてくれた家族や友人、そして周りの方々への感謝の気持ちを改めて感じています。

子どものころ、20 歳の自分はもっと立派な人間だと想像していました。しかし、現実にはまだまだ未熟でこれからも学び続けることが果てしなくあることを痛感する日々です。それでも、10 代の頃とは違う責任感や覚悟が芽生えつつあります。

私は今、看護師を目指して看護学校に通っています。新型コロナウイルス感染症、超高齢社会などの医療の需要を示すニュースが時折報道されるように、これからも変わらず医療は必要とされ続けます。そこに携わる医療職者の一人として、医療に貢献する存在になりたいと強く思っています。看護学校で学ぶことは多くあり大変で、人の命や生活を支える重要な役割を担う仕事には大きなプレッシャーがありますが、それ以上に人の助けになりたいという気持ちがあります。この

気持ちを胸にこれからも努力を惜しまず看護の道を進んでいきます。そして自分が理想とする、人を笑顔にする看護師像を目指していきます。

これからはどんなことに対しても「大人として」という枕詞がついていきます。それは、責任を持って行動しなければならないということを意味していると感じます。大人としての振る舞いは、誰かに教えられるものだけでなく、自分で考え、選び、行動していく中で身についていくものだと思います。失敗をすることは何度もあるかもしれませんが、それも学びの一部として捉え、より良い自分を目指して、立派な大人である自分を作りあげたいと思います。そして周りと支え合いながら、人との繋がりをこれからも大切にしていきたいと思います。